

証券コード：2874



ヨコレイNOTE

VOL.8

第65期中間報告書

(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

ごあいさつ・財務ハイライト ————— P1

営業の概況・事業別の概況 ————— P2

特集

ヨコレイ品質の向上に向けて ————— P3

[ヨコレイくんが行く!]

**海外事業部は
グローバル戦略の司令塔** ————— P3

中間連結財務諸表（要約）・会社概要 ————— P5

役員および執行役員・ネットワーク・株式の状況 — P6

「人」に「もの」に「地球」に“優しい” 食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日頃のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第65期中間期（平成23年10月1日から平成24年3月31日まで）の経営環境は、東日本大震災や、タイでの洪水の影響が残りつつも、景気持ち直しの動きが見えてまいりました。しかし、長引く円高や欧州経済の減速等の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当中間期におきましては、冷蔵倉庫事業は堅調に推移したものの、食品販売事業において売上高および利益が大幅に落ち込み、グループ全体では減収減益となりました。

当社グループでは、「コア事業の強化」と「成長力の強化」を事業運営方針の柱とした第四次中期経営計画「Step Toward the Future」を推進し、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

冷蔵倉庫事業

食材を中心に、お客さまからお預かりした貨物を最適な条件下で保管し、先進の物流・情報システムにより、ジャスト・イン・タイム物流の一翼を担っています。

食品販売事業

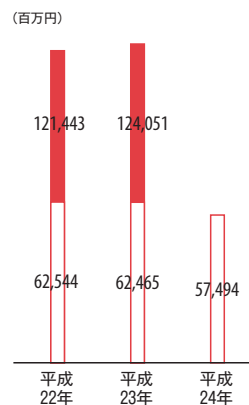
国内外の様々な食材を手がけ、輸出入を含む仕入から販売までを一貫して行うことにより、信頼性の高い食の供給に貢献しています。

Financial Highlights

財務ハイライト

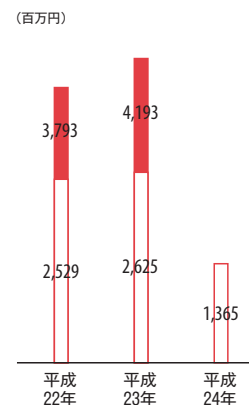
売上高

□ 中間 ■ 通期



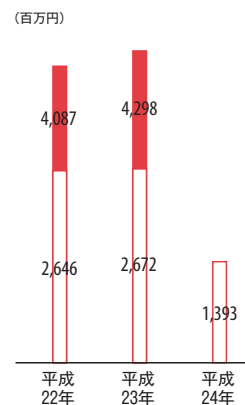
営業利益

□ 中間 ■ 通期



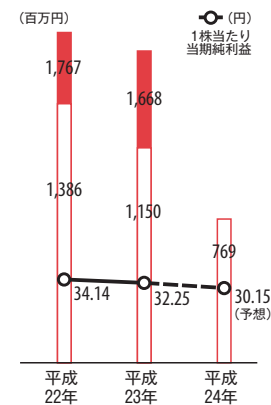
経常利益

□ 中間 ■ 通期



中間(当期)純利益

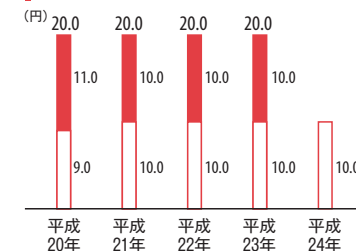
□ 中間 ■ 通期



株主還元について

当社では、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題の1つとして認識し、配当性向40%以上の維持を目標とした安定配当の実現を基本方針としています。この方針に基づき、当中間期の配当金は、1株当たり10円とさせていただきます。

配当金の推移



(注) 平成20年の期末配当額には、創立60周年記念配当2円を含んでおります。

代表取締役社長
吉川俊雄

Business Review

営業の概況

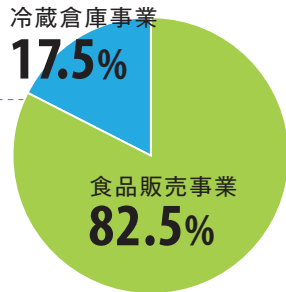
当中間期の概況

- 食品関連業界においては、個人消費の底堅さは失われていないものの、所得・雇用環境の改善は鈍く、厳しい状況が継続。
- 冷蔵倉庫事業は、概ね計画通りに推移。
- 食品販売事業は、主力商品の不漁や相場下落、放射能問題による輸出停滞等の影響により、売上高・利益ともに大幅に減少。

事業別売上高構成比

当中間期(平成24年3月期)
売上高合計

57,494百万円



通期の見通しと業績予想

●通期連結業績予想につきましては、冷蔵倉庫事業は新設稼働の倉庫も含め全般的に順調に推移しているものの、食品販売事業において国内消費需要の低迷や原発問題に起因する輸出取引の長期停滞、また鶏肉市況の悪化による在庫処分等の要因が重なり厳しい事業環境にあり、平成24年5月9日付けで期首に公表した業績予想を以下の通り修正いたしました。

売上高 **113,340**百万円
 営業利益 **3,000**百万円
 経常利益 **2,880**百万円
 当期純利益 **1,560**百万円
 1株当たり当期純利益 **30円15銭**

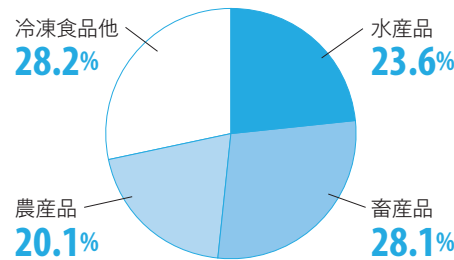
Review of Operations

事業別の概況

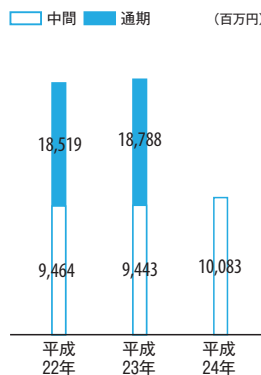
冷蔵倉庫事業

- 前期に新設した、北港および鹿児島物流センターが、期初より順調に稼働。復興需要等、食品貨物の荷動きも回復。
- 冷凍食品や畜産品の取り扱いが増加したことにより、貨物取扱量も増加。
- 売上高10,083百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益2,392百万円(前年同期比3.8%増)と増収増益。

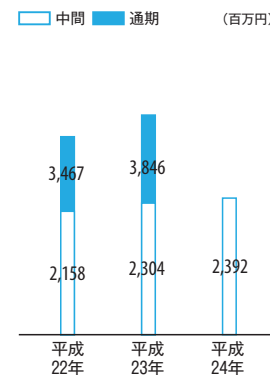
当中間期在庫量品目別割合



売上高



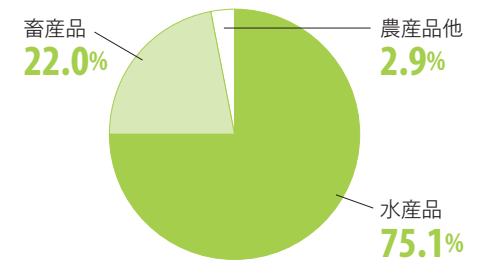
営業利益



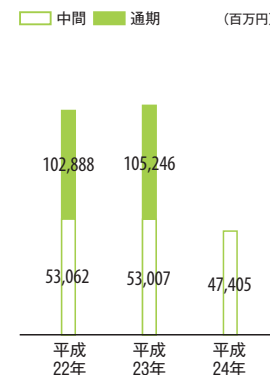
食品販売事業

- ウナギ、秋サケ等の著しい不漁により取扱量が減少。放射能問題により輸出が停滞。
- エビ、輸入鮭鱒類等の主要水産品およびチキンの需給バランスの悪化により相場が下落。
- 売上高47,405百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益2百万円(前年同期比99.8%減)と大幅に減少。

当中間期品目別売上高構成比



売上高



営業利益



食の安全安心への取り組み

ヨコレイ品質の向上に向けて

品質基本方針

私たちは食品流通のエキスパートとして、お客さまが求めるもの、満足するものを提供するため、経営者およびすべての従業員が、つぎの品質基本方針に基づいて行動いたします。

1. 私たちは、社会的責任および社会倫理に則り、関連法令と規範の遵守を徹底します。
2. 私たちは、安全で高品質な商品・サービスを提供するため、品質保証に関わるマニュアルのほか、各種規程の整備とその適切な運用を徹底します。
3. 私たちは、お客さまとの接点を大切に、お客さまが求めるものの把握と、正確かつ適切な情報の提供に努めます。
4. 私たちは、安全を最優先とし、品質保証に関わる社員教育および安全に対する啓蒙活動を推進します。

品質保証の目的と役割

- 経営品質の向上による、顧客満足度の向上を図る
- 5S（整理、清掃、整頓、清潔、しつけ）活動の推進による、生産性の向上とコスト改善
- 安全で高品質な商品・サービスの提供
- 正確かつ適切な情報の提供
- 品質保証に関わる教育・指導、安全に対する啓蒙活動の推進

ヨコレイ品質マネジメントシステム



- ISO9001品質マネジメントシステムの考え方をベースとした、当社のシステムに適應したマネジメントシステムです。
- 目指すものは「ヨコレイ品質の向上」です。
- YOKOREI Excellent Quality Management Systemを略称として「エース」と呼んでいます。
- 「e」には、地球：Earth、省エネ：Ecology、環境：Environmentという意味を含んでいます。

「ヨコレイ品質」



「ヨコレイ品質」を支えるものは社員の「質」であり、企業価値は社員が中心となって高めていくものであると考えています。

ヨコレイくんが行く!

今回の「ヨコレイくんが行く!」は海外事業部を探検してきたよ!



海外事業部はグローバル戦略の司令塔

ヨコレイでは、3年ほど前から、水産原料部が中心となって輸出入業務を手がけてきた。現在進行中の中期経営計画では、海外ネットワークを活かしたグローバル戦略の強化を目標に掲げている。このため、海外事業に専念する部隊として、平成24年4月、海外事業部を設置したんだ。

こうしてできた海外事業部には、二つの大きな役割があるんだ。一つは、世界各地から水産物や食品を輸入すること。ヨコレイの営業拠点は日本全国にあるんだけど、それぞれの地域や拠点で異なるニーズに応じて、世界各地から必要な商材を調達している

んだ。

もう一つは、今、ヨコレイが最も力を入れている安価で美味しい日本の水産物を世界に向けて輸出する



こと。ヨコレイには、北は北海道から南は鹿児島にいたるまで営業ネットワークがあり、いろいろな魚種を仕入れることができる。このネットワークを活かし、世界各地のニーズに応える品揃えで、日本産の水産物の輸出を拡大しようということなんだ。加えて、海外事業部には、海外市場や国内市場の需給バランスに目配りし、輸入する商品、輸出する商品の全体最適化を図るという重要な役割もあるんだ。つまり、海外事業部は、ヨコレイのグローバル戦略を推進する司令塔というわけだ。

朝一番の情報収集にはじまり、夜遅くまで受発注業務に対応する「攻め」の部隊



海外事業部長 宮内執行役員

海外事業部、朝一番の仕事は情報収集からはじまる。社内のネットワークを通じ、日本はもちろん世界各地の港でどんな魚種がどれだけ揚

がったか、どこでどの魚種にオファーがあるかなど、きめ細かに情報をチェックする。

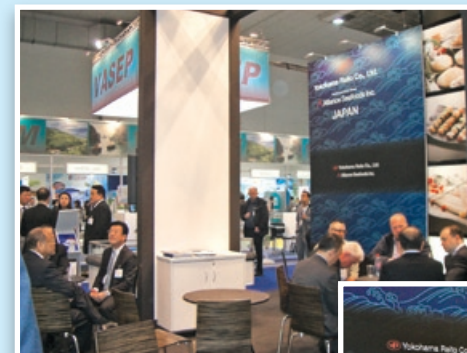
こうして得られた情報を基に、市場の需給バランスを図りながら輸出入を管理していくんだ。ヨーロッパでは8時間程度、北米になると13~14時間程度の時差があるから、どうしても受発注業務は夕方から夜にかけて集中する。そんなわけで、「攻め」の部

隊である海外事業部は、忙しさが楽しめるスタッフでないとつとまらない。

ヨコレイの海外事業は、各地から得られる情報を、実際に自分の手と目で確認することも大切な仕事。冷凍魚を解凍し、自分で捌いて鮮度をチェックしているんだ。入社したての頃は包丁も持てなかった社員が、今では自分で魚を捌けるようになっている。こうしたことができるから、鮮度管理も衛生管理もしっかりしていて、世界に誇る「ヨコレイ品質」でお客さまに信頼していただけるんだね。

世界に市場を求め、海外展示会にも積極的に出展

昨年は5月に初めて世界最大級の規模を誇るベルギー・ブリュッセルで開催された「欧州シーフード・エキスポ」への出展を皮切りに、9月に香港で開催された「アジア・シーフード・エキスポ」へも出展し、海外で日本の水産物を積極的に売り込んできた。安価で美味しい水産物を世界各国が求めている、価格面でも加工面でも秀でた日本の水産物に興味を持ってもらえたことは大きな収穫だったようだ。実際、2回目の出展となる今年5月開催の「欧州シーフード・エキスポ」では、150社を超える企業と本気度の高い商談を行うことができたという。今年は、タイの国際食品見本市「THAIFEX」にも情報収集にかけ、積極的な海外進出にチャレンジしていくそうだ。



今年5月に開催された「欧州シーフード・エキスポ」への出展



「継続は力なり」を合言葉にチームの力で海外事業を推進

海外事業部は、ヨコレイが原料サプライヤーとして確固たる地位を築く最先端の部隊だ。東日本大震災やヨーロッパでの経済危機など、厳しい環境の中での船出となったけど、海外事業部では「継続は力なり」を合言葉に、海外事業を大きく育てることに燃えているんだ。そのため、「和」をもってチームとして機能させることを目指し、文字通り、日夜、世界を相手に奮闘している海外事業部の今後に期待したいね。日本の水産物を世界に供給するヨコレイのネットワークに、もっと活躍してほしいね。



さて、そろそろ仕事に戻らなきゃ。なので「ヨコレイくんが行く!」は、今回で最終回。これからも僕は、横浜冷凍のどこかで頑張ってるよ!!!

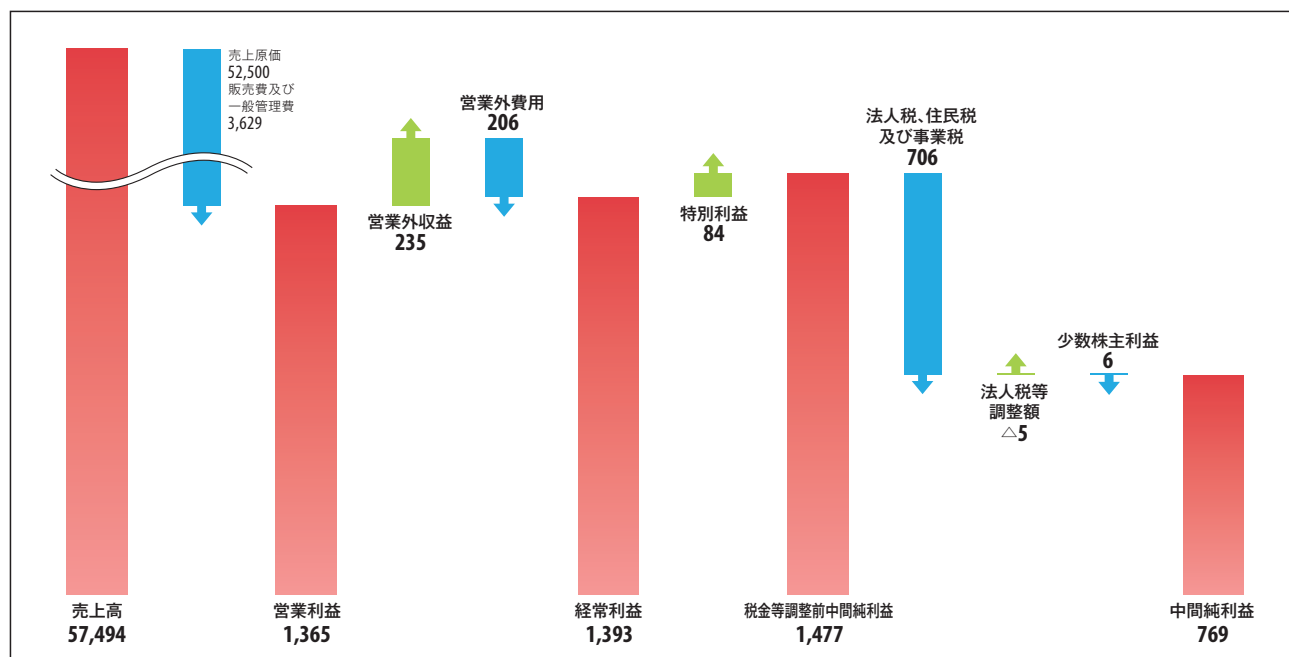
Six-month Consolidated Financial Results

中間連結財務諸表（要約）

Corporate Data

会社概要（平成24年3月31日現在）

中間連結損益計算書の概要（単位：百万円）



会社名 横浜冷凍株式会社

本社所在地 〒220-0012

横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー7階

TEL：045-210-0011（代表）

FAX：045-210-0018

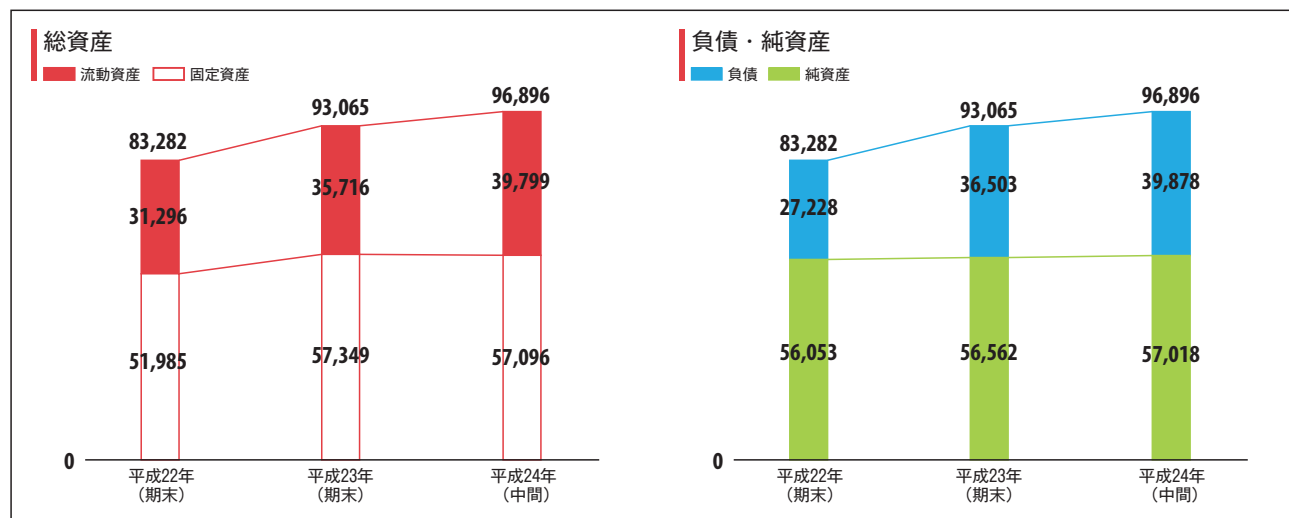
設立 昭和23年5月13日

資本金 11,065,926,625円

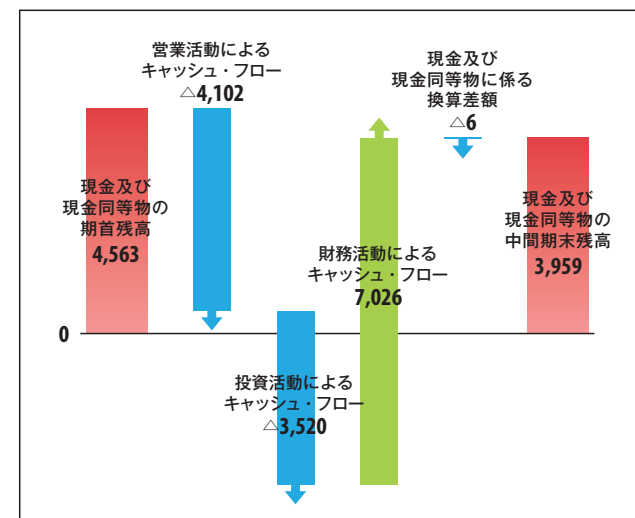
従業員数 945名

- 業務内容
- 1.冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
 - 2.水産品の加工、販売並びに輸出入
 - 3.農畜産物の加工、販売並びに輸出入
 - 4.不動産賃貸業
 - 5.通関業
 - 6.貨物運送取扱事業並びに貨物自動車運送事業
 - 7.食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
 - 8.その他前各号に付帯関連する一切の事業（定款における事業目的）

中間連結貸借対照表の概要（単位：百万円）



中間連結キャッシュ・フローの概要（単位：百万円）



Directors and Officers

役員および執行役員 (平成24年3月31日現在)

| | |
|----------|-------|
| 代表取締役社長 | 吉川俊雄 |
| 常務取締役 | 岩淵文雄 |
| 常務取締役 | 水野隆明 |
| 取締役 | 中西啓文 |
| 取締役 | 飯島敏正 |
| 取締役 | 千田重賢 |
| 取締役 | 西山敏彦 |
| 取締役 | 井上祐司 |
| 取締役 | 越智孝次 |
| 常勤監査役 | 吉橋伊知男 |
| 常勤監査役 | 平野順三 |
| 監査役 (独立) | 棚橋栄蔵 |
| 監査役 | 西元徹也 |
| 上席執行役員 | 大久保孝一 |
| 執行役員 | 笹崎等 |
| 執行役員 | 岩倉正人 |
| 執行役員 | 畑山敬二 |
| 執行役員 | 竹村文男 |
| 執行役員 | 松原弘幸 |
| 執行役員 | 野崎博嗣 |
| 執行役員 | 池田浩人 |
| 執行役員 | 宮内英治 |

本社を移転いたしました

当社では、BCP(事業継続計画)の向上や、今後の成長を視野に入れた本社機能の強化を目的に、平成24年3月26日に本社を移転いたしました。移転先の「みなとみらいグランドセントラルタワー」は、みなとみらい21地区に位置し、液状化対策や防災対策に優れているとともに、業務効率の向上に寄与する機能を有しております。さらに、最新の技術により環境負荷の低減とエコ対策が施されていることから、食品エキスパートとして「人」に「もの」に「地球」に優しい経営を目指す当社の新本社として選定いたしました。



Network

ネットワーク (平成24年4月1日現在) ●は新規拠点

冷蔵倉庫事業 39拠点

北海道・東北ブロック
 十勝物流センター
 十勝第二物流センター
 石狩物流センター
 八戸物流センター
 気仙沼冷凍工場
 仙台物流センター

関東ブロック
 加須物流センター
 加須第二物流センター
 鶴ヶ島物流センター
 東京物流センター
 東京第二物流センター
 大黒物流センター
 横浜物流センター
 子安物流センター
 山内物流センター
 伊勢原物流センター

阪神・中京・東海ブロック

●北港物流センター
 小牧物流センター
 名古屋物流センター
 中川物流センター
 西淀物流センター
 舞洲物流センター
 神戸物流センター
 六甲物流センター
 沼津物流センター
 大井川物流センター
九州ブロック

●鹿児島物流センター
 福岡物流センター
 箱崎物流センター
 鳥栖物流センター
 鳥栖第二物流センター
 唐津冷凍工場
 長崎冷凍工場
 佐世保冷凍工場
 都城物流センター
 志布志物流センター
 川辺物流センター
 枕崎冷凍工場
 山川冷凍工場

食品販売事業 23拠点

北海道水産事業部
 東北水産事業部 (仙台)
 八戸営業所
 気仙沼営業所
 九州水産事業部 (福岡)
 佐世保営業所
 長崎営業所
 鹿児島営業所
 唐津営業所
 松浦営業所
 畜産事業部
 農産事業部 (横浜)
 十勝営業所
 鹿児島営業所
 留寿都パッキングセンター
 東京営業部
 茨城営業所
 銚子営業所
 沼津営業所
 横浜営業部
 名古屋営業部
 大阪営業部
 ●海外事業部

海外拠点

バンコク駐在員事務所

連結子会社

株式会社アライアンスシーフーズ
 株式会社クローバートレーディング
 THAI YOKOREI CO., LTD. (タイ)
 ●ワンノイ物流センター
 バンパコン物流センター
 サムロン物流センター

Stock Information

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

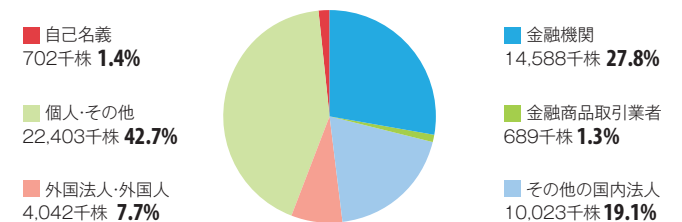
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 160,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 52,450,969株 |
| 株主数 | 14,093名 |

大株主 (上位10名)

| 大株主名 | 当社への出資状況 | |
|---|----------|----------|
| | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
| 第一生命保険株式会社 | 2,205 | 4.26 |
| 株式会社横浜銀行 | 2,176 | 4.21 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 1,672 | 3.23 |
| 農林中央金庫 | 1,473 | 2.85 |
| 株式会社八丁幸 | 1,411 | 2.73 |
| 横浜冷凍従業員持株会 | 1,163 | 2.24 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,144 | 2.21 |
| 株式会社松岡 | 1,034 | 2.00 |
| 株式会社サカタのタネ | 1,022 | 1.97 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 962 | 1.86 |

(注)持株比率は自己株式(702,366株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|-------------|---|
| 事業年度 | 10月1日より翌年9月30日まで |
| 定時株主総会 | 12月 |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 9月30日 剰余金の期末配当 9月30日 剰余金の中間配当 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日 |
| 公告の方法 | 電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 http://www.yokorei.co.jp/investors/investors/electronic-public-notice/ |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所(第1部) |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-232-711(フリーダイヤル) |

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声をお聞かせください

右記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2874

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた
携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

ホームページのご紹介

<http://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。

また、食の安全安心や環境、社会貢献活動などのCSRの取り組みをご紹介します。

ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



 横浜冷凍株式会社

〒220-0012 横浜西区みなとみらい四丁目6番2号 みなとみらいグランドセントラルタワー7階